

《セッション概要案》

■内科・外科シンポジウム 3. (120分)

「HBRの評価と対応」

論点：欧米に比し本邦の症例は出血リスクが高く、虚血リスクが低いと言われている。しかし、直接の比較試験はほとんどない。臨床成績から何が言えるか？ 海外データ、本邦のデータをどのように臨床に活かすべきか議論する？

座長：内科 千葉大 小林欣夫 先生 外科 慈恵医大 國原 孝 先生

HBR 評価 Overview: 藤田医科大 尾崎行男 先生 (発表動画 20分・質疑無し)

内科：

1. 日本版高出血リスク評価基準(J-HBR)の意義
東京医大 山下 淳 先生 (発表 15分+質疑 5分)
2. 出血の虚血イベントリスクに及ぼす影響 (仮)
大阪大学 外海洋平 先生 (発表 15分+質疑 5分)

外科：

1. 冠動脈バイパス術における抗血小板剤と HBR の関係に関する一考察
小倉記念病院 大野暢久 先生 (発表 15分+質疑 5分)
2. 日本の抗血栓療法に対する反応の特徴；機械弁に対するワーファリンを中心に
群馬大学 阿部知伸 先生 (発表 15分+質疑 5分)

総合討論 (約 20分)